

卒業研究

講師名	川畑 洋	実務経験等	農業研究センター、農業改良普及センターでの勤務経験を活かし、卒業研究に向けた調査・試験等について指導している。
-----	------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
畜産学科・専門科目	畜産・酪農	必修	2	通年	120	4
使用教科書・副教材	各自参考図書、参考文献等					
授業の目的	課題設定、計画立案、実施、取りまとめ、考察等の一連の取組を通じて、課題解決能力やプレゼンテーション能力を養う。					
授業の到達目標	計画的に課題に取り組み、適切なデータ処理や取りまとめができるようになる。					

月	学習項目	学習事項	時間	授業形式	備考 (提出物等)
4月	実施計画発表及び検討	設定課題の検討、実験計画の作成・発表 (4/19) 調査・研究の実施 データの収集・検査・分析	10	実習	計画書
5月	計画の実施	調査・研究の実施、進行管理	6	実習	
6月	計画の実施	調査・研究の実施、進行管理	6	実習	
7月	計画の実施	調査・研究の実施、進行管理	4	実習	
8月	計画の実施	調査・研究の実施、進行管理	4	実習	
9月	計画の実施	調査・研究の実施、進行管理	4	実習	
10月 ～ 11月	計画の実施 中間検討 (データ解析・考察)	データ処理・解析、成績のとりまとめ 学科内中間検討会、展示パネルの作成	20	実習 演習 検討会	発表資料 パネル
12月	研究成果発表会	データ処理・解析、成績のとりまとめ 畜産学科研究成果発表、校内発表	48	演習 発表	発表資料
1月	とりまとめ	卒業研究集録、抄録の作成	18	演習	集録、抄録
		合計	120	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

論文60%(目的設定と成績、理論構成と表現、内容、発表態度等)、平常点40%(調査・検査、データ整理、文献考証等の取組状況、出席状況等)

履修に当たっての留意点等

学校が所有する施設、機械、家畜、飼料以外の物で、自己の研究材料として必要なものについては各自が自前で用意するものとする。データの記録用紙や野帳を用意して取り組むこと。成績とりまとめやデータ処理・解析にパソコンを活用するほか、各自必要資料を収集・持参すること。